

2023年6月11日(日)

中国新聞 SELECT 掲載



JICA
だより



モルディブ
(2005～07年派遣)
田辺哲也さん(53)
東広島市

18年前、JICA海外協力隊員としてインド洋の島国モルディブの首都マレに赴任し、青少年スポーツ省管轄の職業訓練校で写真を教えた。現地では当時、まだデジタル一眼レフカメラが普及し始めた頃で、まだまだフィルムが主流だった。カメラにモノクロフィルムを詰めて撮影し、暗室で現像からプリントまでできるように授業を行った。照明を学ぶ授業でガラスを撮影する課題を与えた際には、生徒たちが、中に魚を入れ、照明を青くしてモルディブの海を表現した

生徒の発想力に驚き

り、ポートレート撮影でファッション雑誌のような照明や衣装、ポーズで撮影したりした。その発想力に驚

かされた。それからは、生徒のアイデアを生かせるように指導を進めていった。海外協力隊によるモルデ

有名写真家になり活躍している。彼の回想記と、私の写真も掲載されてお、懐かしさが込み上げた。協力隊での活動を終えタイのバンコクで日本語教師をした。モルディブから

近いタイにいとモルディブ時代がよく訪ねてくれた。撮影の仕事で訪れる元生徒もおり、現場での仕事ぶりを見せてくれることも。協力隊の活動後もモルディブとつながりを感じられるのはうれしいことだ。

現在は、JICA中国で海外協力隊をサポートする仕事をしている。本年度は7月3日まで隊員の春募集をしている。協力隊の活動は私の人生を輝かせてくれた。この経験から、協力隊のキャッチコピーの「いつか世界を変える力になる」は、「必ず自分を変える力になる」と言い換えられると信じている。



モルディブで教えた写真コースの生徒たちと。手前中央が筆者